

公益社団法人計測自動制御学会関西支部

特別講演会ならびに第59回支部会議次第

I 開催日 令和6年(2024年)1月12日(金)

II 場所 大阪工業大学梅田キャンパス
(〒530-8568 大阪市北区茶屋町1-45)

III 特別講演会 16:00-17:00

「仮想実社会データ（＝合成人口データ＋基本行動データ）によるリアルスケール社会シミュレーション」

村田 忠彦 氏（大阪大学

サイバーメディアセンター・大学院情報科学研究科 教授）

IV 支部会議 17:05-17:35

1. 令和5年度事業報告
2. 主要な活動状況と新しい試みの報告
3. 令和6年度事業計画
4. 令和6年度支部運営委員の紹介
5. 新支部長挨拶

資料目次

資料目次	2
第59回計測自動制御学会関西支部支部会議資料	3
令和5年度事業報告	3
主要な活動状況と新しい試みの報告	8
令和6年度事業計画	10
令和5年度収支決算書	11
令和6年度収支予算書	12
令和6年度運営委員名簿	13
【参考】関西支部規則改正案	14
特別講演会資料	15

第59回計測自動制御学会関西支部支部会議資料

令和5年度事業報告

項目	内容
I 事業	<p>1. 特別講演会 2023年1月11日（水）大阪公立大学I-siteなんば 「少ないリソース下で制御システムの品質を保つ：情報圧縮とロボット制御」 大阪大学 南 裕樹氏</p> <p>2. 見学会 最先端のロボット学を探る 2023年10月20日（金）：大阪大学大学院基礎工学研究科 （石黒浩教授研究室、原田研介教授研究室、長井隆行教授研究室、旧細田耕教授研究室） 参加者 38名（企業3名、教員4名、学生31名）</p> <p>3. 講習会 言葉で記された情報の分析と利活用 ～自然言語処理の基礎から応用展開まで～ 講師：大阪公立大学 柳本 豪一、大阪大学 野間口 大、 東京大学 青山 和浩、山口大学・東京都立大学 岡本 和也 2023年8月2日（水）10:00-16:35・大阪公立大学 I-siteなんば 参加者：56名（内訳：正会員 38名、学生12名、非会員 6名）</p> <p>4. シンポジウム 2022年度 計測自動制御学会関西支部・システム制御情報学会シンポジウム 2023年1月11日（水） 一般講演数 53件</p> <p>5. 支部長賞 奨励賞4件の自薦他薦から、奨励賞3件を受賞対象とした。</p>

公募: 2023年 11月 1日 (水) ~ 30日 (木)

選考: 2023年 12月 18日 (月)

奨励賞: Lee Kunwoo (京都大学)

「状態推定のための先見情報の有効性評価手法の提案」

奨励賞: 角田 祐輔 (大阪大学)

「シープドッグシステムに学ぶヘテロ群移動体制御の創成: 工学と理学の双方向アプローチ」

奨励賞: 長谷川 翔一 (立命館大学)

「Inferring Place-Object Relationships by Integrating Probabilistic Logic and Multimodal Spatial Concepts」

6. 協賛事業

- 精密工学会関西支部「生産技術特別セミナー」
2023年 6月 1日(木), 2日(金), 6日(火), 9日(金), 14日(水)
大阪公立大学 文化交流センター ホール
- 日本材料学会関西支部第18回若手シンポジウム
2023年 12月 4日(月) 同志社大学 大阪サテライトキャンパス

7. 饗宴(研究会・勉強会・意見交換会)

- 2023年9月12日
話題提供者 中嶋宏氏
題材 生成AI

II 会議

1. 支部会議

2023年 1月 11日 (水)

大阪公立大学I-siteなんば

2. 支部運営委員会

- 2023年 5月10日(火) 16:15-17:45 (オンライン)
- 2023年 6月27日(火) 10:00-11:15 (オンライン)
- 2023年 9月12日(火) 15:30-17:30 (大阪工業大学梅田キャンパス)
- 2023年 11月 6日(月) 15:00-15:45 (オンライン)
- 2023年 12月25日(月) 15:15-17:15 (オンライン)

3. 委員会開催(運営委員会外)

- 新旧4役ミーティング オンライン会議1回
- 講習会委員会 メールベース 2回
- シンポジウム委員会 対面会議1回、オンライン会議3回
- 見学会委員会: メールベース 1回
- 支部長賞選考委員会 オンライン会議 1回

III 会員状況

2023年 12月 31日 (日) 現在, 関西支部所管内

正会員 598名 (2022年末は622名)

准会員 4名 (同6名)

学生会員 56名 (同35名)

名誉会員 9名 (同7名)

永年会員 15名 (同15名)

賛助会員 28社 (同30社)

IV 運営委員

支部長 中嶋宏 (オムロン)

副支部長 藤崎泰正 (大阪大学)

庶務幹事 渡辺泰久 (オムロン)

庶務幹事 和田孝之 (大阪大学)

庶務幹事 清川拓哉 (大阪大学)

庶務幹事 花田研太（奈良先端科学技術大学院大学）

会計幹事 浦大介（大阪大学）

会計幹事 星野健太（京都大学）

講習会委員会

委員長 佐藤孝雄（兵庫県立大学）

副委員長 寒川哲夫（摂南大学）

会計 久保輝宜（クボタ）

シンポジウム委員会

委員長 田熊隆史（大阪工業大学）

副委員長 中本裕之（神戸大学）

庶務 庵智幸（大阪大学）

庶務 永瀬純也（龍谷大学）

庶務 小林友明（大阪公立大学）

会計 前場友秀（川崎重工業）

会計 桑名孝汰（神戸製鋼所）

見学会委員会

委員長 川節拓実（大阪大学）

副委員長 石塚裕己（大阪大学）

庶務 瀬和居裕志（島津システムソリューションズ）

庶務 山口雄紀（オムロン）

庶務 山際泰亮（アズビル）

会計 北尾太市（村田機械）

会計 大橋乃輔（三菱電機）

支部長賞選考委員会

委員長 中嶋宏（オムロン）

委員 藤崎泰正（大阪大学）

委員 渡辺泰久（オムロン）

委員 和田孝之（大阪大学）

委員 清川拓哉（大阪大学）

委員	花田研太（奈良先端科学技術大学院大学）
委員	浦大介（大阪大学）
委員	星野健太（京都大学）
委員	佐藤孝雄（兵庫県立大学）
委員	田熊隆史（大阪工業大学）
委員	桑名孝汰（神戸製鋼所）
委員	川節拓実（大阪大学）
委員	瀬和居裕志（島津システムソリューションズ）
委員	山際泰亮（アズビル）
委員	北尾太市（村田機械）
委員	大橋乃輔（三菱電機）

主要な活動状況と新しい試みの報告

令和5年度(西暦2023年度)のSICE関西支部は、パンデミック下にて経験したオンライン化のメリットも取り入れつつ、新型コロナウイルスの5類への移行を受け、ポストコロナ時代に向けて対面での取り組みを本格的に復活させ活動してきました。

まず、昨年度に対面開催を復活した見学会については、今年度は大阪大学にて「最先端のロボット学を探る」をテーマに開催することができました。また昨年度、対面とオンラインのハイブリッド形式にて開催された講習会（システム制御情報学会との共催）について、本年度は「言葉で記された情報の分析と活用～自然言語処理の基礎から応用展開まで～」と題し、昨年度と同様ハイブリッド形式で実施することができました。さらに、「饗宴」(研究者・技術者からなる支部運営委員会内の勉強会・研究会・意見交換会)についても運営委員会との併催で9月に対面にて開催し、支部運営委員の交流を図ることができました。

本日開催の「計測自動制御学会関西支部・システム制御情報学会シンポジウム」については、昨年度の53件を大幅に上回る72件の発表が行われました。本年度は対面による交流の場「ミキサー」が4年ぶりに復活し、研究者の相互交流に役立つことと期待しております。

新しい試みとして、DE&I (Diversity, Equity, and Inclusion)への取り組みを開始しました。本年度は上述のシンポジウムに「DE&I特別セッション」を設け、日本知能情報ファジィ学会の協賛の下、産学双方の研究者による発表が行われました。

また、支部活動をより柔軟に実施できるよう、支部規則の改正に取り組みました。別項に記載のとおり、改正案では、各事業企画を遂行する委員会を固定せず、年度ごとの活動計画に応じて柔軟に委員を割り当てられる体制としています。改正案はすでに支部運営委員会で議決されており、支部協議会の承認、理事会への報告を経て、正式に施行される見通しです。

このように、今年度はポストコロナ時代に向けて対面での活動を本格的に復活させつつも、コロナ禍対応で培ったオンラインでの支部運営の利点を享受して活動を行うことができました。2020年度から準備及び一部の実施をしてきた会議や決済などのオンライン化により、効率化、迅速化は定着してきており、同じ労力で可能な活動は増加しています。

支部予算の執行・会計においては、対面活動の定着、特にシンポジウムにおけるミキサーの復活に伴い増えてきておりますが、活動の一部をオンライン化しているためコロナ禍前と比較すると管理費は若干少なくなる見込みです。

関西支部所属の会員数につきましては、主に正会員および準会員が減少した一方、学生会員および名誉会員の増加が見られ、全体としては微減の傾向にあります。

令和6年度事業計画

項目	内容	
II 事業	特別講演会（1月）	1回（令和5年度実績1回）
	シンポジウム（1月）	1回（同1回）
	講習会（6月）	1回（同1回）
	見学会（10月）	1回（同1回）
	支部長賞（11月,12月）	1回（同1回）
	研究会・勉強会・意見交換会	随時（同1回）
	協賛事業	随時（同2件）
	連携事業	随時（同0件）
II 会議	支部会議	1回（同1回）
	支部運営委員会	5回（同5回）
	2024年4月	
	2024年6月	
	2024年8月	
	2024年10月	
	2024年12月	
	委員会開催 講習会委員会	随時（同2回）
	シンポジウム委員会	随時（同4回）
	見学会委員会	随時（同1回（メールベース））
支部長賞選考委員会（12月）	1回（同1回）	

令和5年度 収支決算書

(単位:円)

収入		支出	
交付金収入(学会より)	-238,979		
特定資産利息収入	0		
事業収入	127,500	事業費	86,488
支部会購収入	0	学術講演会費支出	0
部門大会収入	0	部門大会費支出	0
講演会収入	0	講演会費支出	0
講習会収入	0	講習会費支出	0
シンポジウム収入	127,500	シンポジウム費支出	66,378
研究会収入	0	研究会費支出	0
見学会収入	0	見学会費支出	0
国際交流活動収入	0	国際交流活動費支出	0
調査・資料収集活動収入	0	調査事業費支出	0
資格認定活動収入	0	資格付与事業費支出	0
体験活動収入	0	体験事業費支出	0
表彰活動収入	0	表彰費支出	20,110
部門交流活動収入	0	部門交流活動費支出	0
広報活動収入	0	広報活動費支出	0
記念事業収入	0	記念事業費支出	0
運営委員会事業収入	0	分配金支出	0
分担金収入	0	共催事業分担金支出	0
補助金・助成金収入	0		
		管理費	370,952
		運営委員会費支出	370,952
雑収入	10	給料手当	0
受取利息	10	臨時雇用費金	55,000
雑収入	0	退職給付費用	0
		旅費交通費	5,360
		通信運搬費	3,180
		支払手数料	815
		建物減価償却費	0
		備品減価償却費	0
		消耗品費	1,650
		事務所費	0
		賃借料	0
		印刷製本費	0
		保険料	0
		諸謝金	0
		OA関係諸雑費	0
		租税公課	0
		分配金	0
		支払負担金	50,000
		委託費	0
		会場費	184,459
		原種料	0
		技術交流会会費	0
		表彰関係費	70,488
		広告宣伝費	0
		雑費	0
		固定資産取得支出	0
		什器備品購入支出	0
		消費税相当額	0
収入合計(D)	-111,469	支出合計(I)	457,440
		(収支差額(D)-(I))	-568,909
繰入金収入(E)	0	他会計への繰出額(J)	-568,909
特別繰入金収入	0	未収金回収不能額(L)	0
国際会議	0	事業未収金回収不能額支出	0
会誌翻訳	0	繰入金未収金回収不能額支出	0
共催事業	0		
特別交付金	0		
未収金補填収入	0		
寄附金収入(F)	0		
当期収入合計(A)=SUM(D,F)	-111,469	当期支出合計(C)=SUM(I,L)	-111,469
前期繰越収支差額	0	当期収支差額(A)-(C)	0
収入合計(B)	-111,469	次期繰越収支差額(B)-(C)	0

令和6年度収支予算書

(単位:円)

収入		支出	
交付金収入(学会より)			
特定資産利息収入	0		
事業収入	1,198,000	事業費	1,234,500
支部会議収入	0	学術講演会費支出	0
部門大会収入	0	部門大会費支出	0
講演会収入	0	講演会費支出	0
講習会収入	0	講習会費支出	0
シンポジウム収入	538,000	シンポジウム費支出	884,500
研究会収入	0	研究会費支出	0
見学会収入	60,000	見学会費支出	300,000
国際交流活動収入	0	国際交流活動費支出	0
調査・資料収集活動収入	0	調査事業費支出	0
資格認定活動収入	0	資格付与事業費支出	0
体験活動収入	0	体験事業費支出	0
表彰活動収入	0	表彰費支出	0
部門交流活動収入	0	部門交流活動費支出	0
広報活動収入	0	広報活動費支出	0
記念事業収入	0	記念事業費支出	0
運営委員会事業収入	0	分配金支出	0
分担金収入	50,000	共催事業分担金支出	50,000
補助金・助成金収入	550,000		
		管理費	321,000
		運営委員会費支出	321,000
雑収入	1,000	給料手当	0
受取利息	1,000	臨時雇用賃金	50,000
雑収入	0	臨時雇用賃金(支部会議/バイト日当)	20,000
		支部会議弁当代(バイト)	1,000
		退職給付費用	0
		旅費交通費	30,000
		通信運搬費	20,000
		建物減価償却費	0
		備品減価償却費	0
		消耗品費	20,000
		事務所費	0
		賃借料	0
		印刷製本費	10,000
		保険料	0
		諸謝金	0
		OA関係諸雑費	0
		租税公課	0
		分配金	0
		支払負担金	0
		委託費	0
		会場費	60,000
		原稿料	0
		技術交流会費	0
		表彰関係費	100,000
		広告宣伝費	0
		雑費	10,000
		固定資産取得支出	0
		什器備品購入支出	0
		消費税相当額	0
収入合計(D)	1,199,000	支出合計(I)	1,555,500
		(収支差額(D)-I)	-356,500
繰入金収入(E)	0	一般会計繰入金支出(J)	0
特別繰入金収入	0		
国際会議	0	未収金回収不能額(L)	0
会議翻訳	0	事業未収金回収不能額支出	0
共催事業	0	繰入金未収金回収不能額支出	0
特別交付金	0		
未収金補填収入	0		
寄附金収入(F)	0		
当期収入合計(A)=SUM(D:F)	1,199,000	当期支出合計(C)=SUM(I:L)	1,555,500
前期繰越収支差額	0	当期収支差額(A)-(C)	-356,500
収入合計(B)	1,199,000	次期繰越収支差額(B)-(C)	-356,500

令和6年度 運営委員名簿

役職	氏名
支部長	藤崎泰正（大阪大学）
副支部長	三輪祥太郎（三菱電機）
庶務幹事	和田孝之（大阪大学） 大坪舜（三菱電機） 寒川哲夫（摂南大学）
会計幹事	星野健太（京都大学） 星島耕太（ダイヘン）
運営委員	庵智幸（大阪大学） 石塚裕己（大阪大学） 大橋乃輔（三菱電機） 北尾太市（村田機械） 楠木祥文（大阪公立大学） 桑名孝汰（神戸製鋼所） 佐藤清一（アズビル） 杉川智（大阪工業大学） 瀬和居裕志（島津システムソリューションズ） 永瀬純也（龍谷大学） 中本裕之（神戸大学） 前場友秀（川崎重工業） 八瀬快人（近畿大学） 山口雄紀（オムロン）

【参考】 関西支部規則改正案

※旧規則から削除した箇所には取り消し線、追加した箇所には下線を付記しています。

第4条(支部運営委員会)

本支部に支部運営委員会(以下「運営委員会」という。)を置き、次の委員をもって構成する。

- (1) 支部長 1名
- (2) 副支部長 1名
- (3) 庶務幹事 若干名
- (4) 会計幹事 若干名

~~—(5) 講習会、シンポジウム、見学会の各委員会を構成する委員—~~

~~(6)~~ (5) その他支部長が必要と認める者 若干名

2 支部長の選任及び任期は、本会支部規程に拠る。

3 支部長を除く他の委員は運営委員会の定める方法により選任される。

~~4 前項により選任された委員の任期は役割変更の場合も含めて就任の翌々年の支部会議までの2年とするが、原則として2期を超えて重任はできない。~~

~~また、副支部長の任期は1年とする。~~

4 前項により選任された委員の任期は、選任後開催される1回目の支部会議の終結の時から始まり、翌々年の支部会議の終結までの2年間とする。ただし、副支部長の任期は1年とする。また、再任は妨げない。

5 委員に欠員が生じた場合は、支部長が後任候補者を推薦し、支部運営委員会の議決によって補うことができる。ただし、欠員によって就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第5条(任務)

運営委員会は、次の各号に掲げる事項を任務とする。

(1) 本支部における調査研究、啓発活動の総合的な統括

(2) 本支部に属する組織間の調整

(3) 本支部に属する組織の設置改廃

~~(4)~~ (4) 本支部の活動計画・予算の策定と実施結果の財務委員会への報告

~~(2)~~ (5) 支部活動状況の支部協議会への報告

~~(3)~~ (6) 各種事業の立案と実施

特別講演会資料

講師

村田 忠彦 氏（大阪大学 サイバーメディアセンター・大学院情報科学研究科 教授）

講演題目

仮想実社会データ（＝合成人口データ＋基本行動データ）によるリアルスケール社会シミュレーション

講演概要

本講演では、仮想実社会データの合成法とリアルスケール社会シミュレーションの事例を紹介する。仮想実社会データには、公開統計情報に基づいて合成された世帯構成員情報（合成人口データ）と各構成員の基本行動データが含まれている。リアルスケール社会シミュレーションは、サイバー空間に埋め込まれた仮想実社会データを用いて、様々なシナリオのもとに実社会における政策や施策の効果を測定することを目指したシミュレーションである。さらに、リアルスケール社会シミュレーションを推進するために、現在、進展している研究プロジェクトを紹介する。

ご略歴

- 1997年 大阪府立大学 大学院修了、博士（工学）
- 1997年 足利工業大学工学部、助教
- 1998年 足利工業大学工学部、講師
- 2001年 関西大学総合情報学部、准教授
- 2005年 関西大学政策グリッドコンピューティング実験センター、センター長
- 2008年 関西大学総合情報学部、教授
- 2010年 シカゴ大学計算科学研究所、客員研究員
- 2020年 放送大学、客員教授
- 2023年 大阪大学サイバーメディアセンター・大学院情報科学研究科、教授